学校番号	319

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史　改訂版」　（山川出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）、世界史重要語句 Check List（啓隆社） 新世界史要点ノート〔標準編〕（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じ、世界中に人々の営みがあったことを知る。
・現代の出来事と歴史的背景を関連づけて考察する。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学習活動を通して、世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察することによって理解を深め、過去から現在へと継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身につける。	教科書や資料集から適切な情報を読み取り、年表・地図の作成や書き込み教材への記述、授業での発言をすることで、その理解を深めることができる。	歴史的な事実を、各地域の歴史である縦軸と、その伝播・交流である横軸の交錯によるものとしてとらえ、全ての要素により世界史が成り立っていることを理解する。
評価方法	出席状況、授業態度、課題への取り組みと提出、ノートの提出などで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエントと地中海世界	・西アジア世界の地理的特質を把握し，オリエント文明の盛衰，イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し，エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。	○		○	○ ○	a：メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明を，関心を持って学習しようとしている。 a：アケメネス朝やササン朝の文明の果たした役割を追究しようとしている。 d：西アジア世界の地理的特質，メソポタミアとエジプトを中心としたオリエント世界の展開，イラン人王朝の活動とその文明の特徴を理解し，その基本的な知識を身につけている。 c：教科書に掲載されているギリシア世界の地図やアテネ市街図・重装歩兵の図版，文化一覧表などの諸資料を適切に活用している。 d：地中海一帯の地理的特質，ギリシア文明の形成とその基盤となったポリス世界の特色について，基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・地中海一帯の地理的特質を把握し，エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているギリシア世界の地図やアテネ市街図・重装歩兵の図版，文化一覧表などの諸資料を適切に活用している。 d：地中海一帯の地理的特質，ギリシア文明の形成とその基盤となったポリス世界の特色について，基本的な知識を身につけている。	

		・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。		○		○	b：皇帝理念やキリスト教の発展をもたらしたローマ文明と，のちのヨーロッパ世界との繋がりを多角的に考察し，文章にまとめる。 d：ローマの帝国化の過程やローマ法，皇帝理念，キリスト教などについて把握し，基本的な知識を身につけている。	
	アジア・アメリカの古代文明	・南アジアの地理的特質を把握し，インド文明の成立と発展，独自の宗教・社会制度など，南アジア世界の形成過程を理解する。	○		○		a：高度な都市文明であったインダス文明の特色とアーリヤ人・非アーリヤ人の王朝の展開を理解し，その基本的な知識を身につけている。 a：ヒンドゥー教とカースト制の特徴，南アジアにおける仏教衰退の理由を把握し，その基本的な知識を身につけている。 c：教科書に掲載されているインダス文明とアーリヤ人の進入を示した地図やインド諸王朝の領域図，仏教伝播の資料，遺跡や仏像などの写真を適切に活用している。	
		・東南アジアの地理的特質を把握し，東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。	○			○	a：東南アジア諸民族がインド・中国文明の影響を受けながら，独自の発展をしていったことを理解し，その基本的な知識を身につけている。 d：東南アジア諸民族がインド・中国文明の影響を受けながら，独自の発展をしていったことを理解し，その基本的な知識を身につけている。	
		・東アジアの地理的特質を把握し，中国文明の起源，殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。			○	○	c：農耕を中心とする東アジアの社会や生活，文化や思想に関する資料を収集し，考察した結果を適切に表現している。 c：教科書に掲載されている東アジアの地勢図や歴史地図，図版を適切に活用している。 d：中国文明の起源である黄河・長江文明，殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成を	

							理解し，その基本的な知識を身につけている。 d：秦・漢帝国の意義や世界との繋がりを理解し，その基本的な知識を身につけている。	
		・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	○			○	a：南北アメリカ文明の基層文化とインカ・アステカ両王国の特色を，関心を持って学習しようとしている。 d：アメリカ先住民の農耕文明や，マヤ・アステカ・インカといった南北アメリカ諸文明の特色を把握し，その基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
2学期	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・内陸アジアの地理的特質を把握し，台頭した遊牧民とその国家の動向を，オアシス民の活動とともに理解する。	○			○	a：スキタイの影響を受けた匈奴など騎馬遊牧民による国家の活動を，オアシス民の生活と比較しながら学習しようとしている。 d：内陸アジアの乾燥した風土を理解し，匈奴を代表とする騎馬遊牧民と秦・漢帝国のオアシス都市の覇権をめぐる抗争に関する基本的な知識を身につけている。	
		・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と，三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されている分裂時代の諸王朝の領域図や，魏晋南北朝の系統図などの資料や図版を適切に活用している。 d：遊牧民の華北進出と定住化，均田制などの新しい制度のしくみを理解し，中国分裂期の基本的な知識を身につけている。	
		・隋唐帝国の国家制度や文化，日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。		○		○	b：唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したことを，その築き上げた整然とした国家制度や文化から判断し，文章にまとめる。 d：律令制度や文化の理解に加え，唐王朝が東アジア世界と内陸アジア世界を含む政治的秩序を形成	

							したことを把握し，日本や新羅などの国家体制の整備に関する基本的な知識を身につけている。	
	イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。			○	○	c ：教科書に掲載されているイスラーム以前の西アジアの地図やイスラーム世界の領域図，ウマイヤ＝モスクやコルドバのモスクなどの写真を適切に活用している。 d ：イスラームの特質やその形成過程について，基本的な知識を身につけている。 d ：カリフによる征服活動や，イスラーム法に基づくアッバース朝の国家体制に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・トルコ系民族が内陸アジアから進出し，ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。		○		○	b ：イスラーム世界の東方への拡大と西方における変容を，内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連づけて考察し，文章にまとめる。 d ：トルコ系民族を軸としたイスラーム世界の諸地域における発展に関して，基本的な知識を身につけている。 d ：ムスリムの交易活動やイクター制の内容を理解している。	
		・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など，イスラーム世界の拡大の過程を理解する。	○			○	a ：インドや東南アジア，アフリカのイスラーム化とその地域に与えた影響について，意欲的に学習しようとしている。 d ：諸地域世界のイスラーム化の過程，ムスリム商人や神秘主義(スーフィー)教団の果たした役割に関する基本的な知識を身につけている。	
		・イスラーム文明の特質とその影響，学問と文化活動の内容，イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	○			○	a ：イスラーム文明の具体的な影響や役割，形成されたネットワークの意義について意欲的に学習しようとしている。 d ：イスラーム文明が古代以来の西アジア文明を基盤としてユーラシア各地の要素を加えて形成された融合文明であることを理解し，その学問と文化活動の基本的な知識を身につけている。	

	ヨーロッパ世界の形成と発展	・地中海世界解体後，ヨーロッパ世界が東西に分かれ，ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは，外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。	○			○	a：フランク王国とローマ教皇の提携の意義，ノルマン人などの諸民族侵入の影響について，関心を持って学習しようとしている。 d：ゲルマン人の移動やノルマン人などの諸民族の侵入による影響，フランク王国とローマ教皇の提携の意義など，西ヨーロッパ世界の形成と発展に関する基本的な知識を身につけている。	
		・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化，スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているビザンツ帝国や東ヨーロッパ世界の領域図，特色ある聖堂や聖母子のイコン，モザイク壁画などの図版を適切に活用している。 d：ビザンツ帝国やスラヴ人諸国家によって形成された，東ヨーロッパのギリシア的世界の多様性に関して，基本的な知識を身につけている。	
		・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。	○			○	a：西ヨーロッパの中世都市の発展や封建社会の変容過程を，関心を持って学習しようとしている。 a：中世西ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について，関心を持って学習しようとしている。 d：西ヨーロッパ封建社会の変容，中世都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけている。	
		・教会と修道院，大学やスコラ学などから，ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。		○		○	b：修道院運動やイスラーム文明の影響など，中世ヨーロッパ文化を多面的に考察し，文章にまとめる。 d：修道院の果たした役割，12世紀ルネサンスや美術・文学など，中世文化に関する基本的な知識を身につけている。	
3学期	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。	○			○	a：トルコ人のイスラーム化と西方への民族移動の世界史的影響について関心を持って学習しようとしている。 d：遊牧国家ウイグルの崩壊以降，トルコ系遊牧民が広く内陸アジアに定住	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度

							し，イスラーム化していったことに関する基本的な知識を身につけている。	
		・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替，宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。	○			○	a：中国周辺諸国の変化，契丹や女真と宋の政治的・軍事的対立と交流，宋代の産業や文化の発展について関心を持って学習しようとしている。 d：日本や高麗といった東アジア周辺諸国の政治権力の交替や，文化の確立に関する基本的な知識を身につけている。 d：契丹や女真の二重支配体制の仕組み，宋の中央集権的統治体制とその社会経済の発展や中国的文化の特色に関して，基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・発問評価 ・授業態度
		・モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているモンゴル帝国の領域図や帝室の系図・図版・写真などを適切に活用している。 d：モンゴル帝国のユーラシアと元朝の東アジア支配の過程と，その支配の特色に関する基本的な知識を身につけている。 d：モンゴル人が築き上げたネットワークと，14世紀以降，その再編・解体がもたらした諸地域世界への影響に関する基本的な知識を身につけている。	
	アジア諸地域の繁栄	・中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されている明の領域図や周辺諸地域図，14～16世紀の東アジア・東南アジア諸国の年表や図版などを適切に活用している。 d：明朝の発展による朝貢世界の確立とその動揺に関する基本的な知識を身につけている。 d：日本や女真を中心とした東アジアの状況の変化に関する基本的な知識を身につけている。	
		・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とと	○			○	a：清代の中国とチベットや琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向に関して，関心をもって学習しようとしている。 d：清朝の中国統治や宣教	

		もに，東アジア世界の動向を理解する。					師によってもたらされた文化の特色，その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。	
		・トルコ･イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。	○			○	a：ティムール朝，オスマン帝国，サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆について，関心を持って学習しようとしている。 d：オスマン帝国などのイスラーム帝国の強大な皇帝権や官僚制，ヨーロッパ世界との関わり，異民族統治の特色に関する基本的な知識を身につけている。	
		・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化，東南アジア交易の発展を理解する。			○	○	c：教科書に掲載されているムガル帝国の領域を示す地図，インドや東南アジアの図版や写真を適切に活用している。 d：ムガル帝国の統治システムやイスラーム教徒とヒンドゥー教徒融合の試み，インド地方政権の台頭，東南アジア交易世界の発展に関する基本的な知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。